

在宅看護方法Ⅱ 1単位（30時間）

- 科目目標:** 1. 在宅看護における生活援助の必要性やその方法を理解する。
 2. 在宅療養者の主な病気や障害の段階に応じた看護を理解する。

講師: 原田 典子（教員）

評価方法: レポート、筆記試験により評価する

テキスト: 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論, 医学書院
 系統看護学講座 看護学概論, 医学書院
 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ, 医学書院
 看護技術がみえる 基礎看護技術①, メディックメディア
 看護技術がみえる 臨床看護技術②, メディックメディア
 フィジカルアセスメントがみえる, メディックメディア
 公衆衛生がみえる 第2版 メディックメディア

単 元	教 育 内 容	時間	授業 形態	備 考
在宅看護の 方法	1. 在宅看護の実際 1) 在宅看護介入時期別の特徴 2) 自立支援 ・日常生活動作・集団的日常生活動作のアセスメント ・ICFの概念とアセスメント 3) 病状・病態の予測と予防 4) 社会資源の活用 5) 介護負担軽減に向けた家族の支援 2. 在宅における看護展開 1) 在宅看護におけるアセスメントの視点 (1) 身体機能のアセスメント (2) 生活動作・生活行動のアセスメント (3) 環境のアセスメント (4) 介護力のアセスメント (5) 社会資源活用のアセスメント (6) 経済力のアセスメント 2) 生活を支える看護展開 3. 在宅看護における生活支援の特徴と技術 1) 呼吸・循環・体温 (1) 呼吸循環機能、体温調節機能のアセスメント (2) 呼吸管理・循環動態管理・体温調節管理 (3) 呼吸・循環機能、体温調節機能の改善・維持への援助方法	30	講義 演習	

- 2) 食生活・摂食
 - (1) 食生活・摂食機能のアセスメント
 - (2) 食生活および摂食・嚥下障害時の援助方法
- 3) 排泄
 - (1) 排泄機能のアセスメント
 - (2) 排泄機能障害時の援助方法
 - (3) 排泄補助用具の種類と選択方法
- 4) 清潔
 - (1) 清潔のアセスメント
 - (2) 清潔への援助方法
 - (3) 清潔ケアと社会資源の活用
- 5) 移動・移乗
 - (1) 移動・移乗のアセスメント
 - (2) 居住環境のアセスメント
 - (3) 移動・移乗の援助方法
 - (4) 移動補助用具の種類と選択方法
- 6) 認知機能
 - (1) 認知機能のアセスメント
 - (2) 認知機能障害への援助

4. 在宅におけるリハビリテーション

- 1) リハビリテーションの目的と種類
 - ・理学療法
 - ・作業療法
 - ・言語聴覚療法
- 2) 地域も含めたリハビリテーションの取り組み
 - ・ロコモティブシンドローム
 - ・高齢者のフレイル
 - ・生活不活発病

5. 服薬管理

- (1) 在宅における服薬管理
- (2) 医師・薬剤師との連携
- (3) 居宅における麻薬等の取り扱い

<p>主な病気と 看護</p>	<p>6. 在宅での医療処置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅酸素療法 (HOT) 2) 人工呼吸療法 (HMV) 3) 在宅経管栄養療法 (HEN) 4) 胃瘻 (PEG) 5) 在宅中心静脈栄養法 (HPN) 6) 膀胱留置カテーテル法 7) 人工肛門 8) 腹膜透析 (CAPD) 9) 褥瘡管理 <p>1. 在宅療養者の状態別看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 長期臥床状態にある療養者 2) 認知症療養者 3) 難病の療養者 (パーキンソン病) 4) 精神障害をもつ療養者 5) 小児の療養者 6) ターミナル期の療養者 <p>2. 事例にみる在宅看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 慢性閉塞性肺疾患 2) 脳卒中後遺症 3) 筋委縮性側索硬化症 (ALS) 			
---------------------	--	--	--	--